

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日



株式会社 岡田精密

作成年月日 2024年7月29日(第12版)発行



®環境省

エコアクション21
認証番号0010345

目次

本レポートの数値は本社・工場、牧之原工場の合算値となります。

会社概要と活動規模		1
EA21組織図及び実施体制		2
環境経営方針		3
環境経営目標とその実績		4
環境経営計画と評価		5
次年度の環境経営目標及び 環境経営計画		6
環境関連法規等の遵守状況及び 評価の確認並びに違反、訴訟等の有無		7
経営者による全体の評価と 見直し・指示		8

会社概要と活動規模

会社名称 株式会社 岡田精密

代表取締役会長 岡田 はつ子

本社・工場所在地 〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉4342番地の7
牧之原工場所在地 〒421-0407 静岡県牧之原市布引原883

環境統括責任者 代表取締役会長 岡田 はつ子

環境管理責任者兼担当者 品質管理担当役員 林 卓弘
及び連絡先 Tel 0548-32-8614
Fax 0548-32-8636
E-Mail: hinkan@okadaseimitsu.co.jp

認証・登録の対象組織・活動

対象組織: 株式会社 岡田精密 本社・工場、牧之原工場

対象活動: NC自動旋削盤による自動車、光学機器、業務サービス機器、家電等の部品製造

従業員数 29人

事業の規模

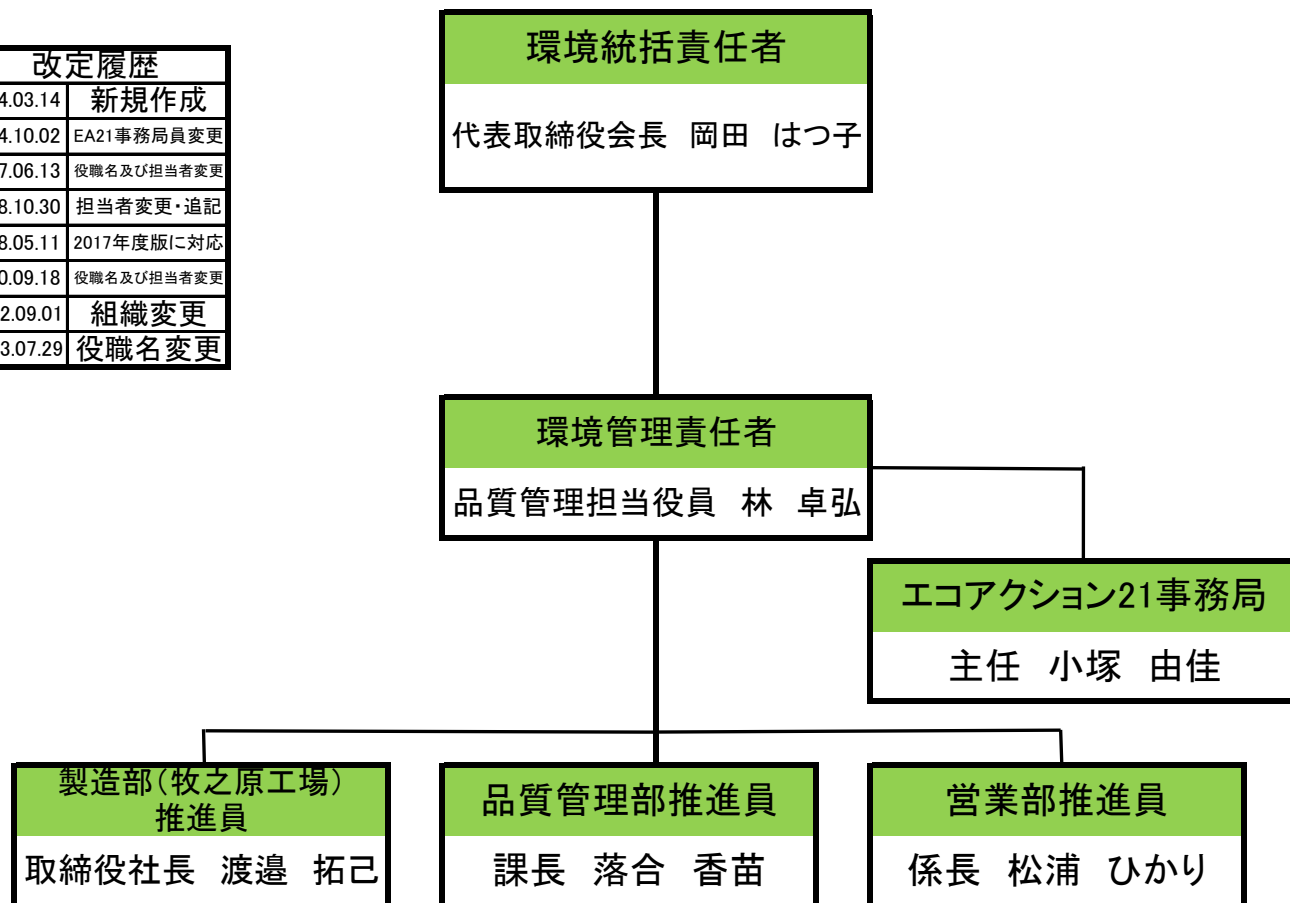
※事業期間は当年1月1日～当年12月31日となります。

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
鋼材使用量	t	77.9	86.5	86.2	85.2
売上高	百万円	238	339	352	368
従業員	人	26	26	26	29
本社・工場床面積	m ²	577.5	577.5	577.5	577.5
牧之原工場床面積	m ²	422.0	422.0	422.0	422.0

保有設備 NC自動旋削盤 33台 卓上旋盤 3台 転造機 1台 バイト研磨機 2台
ドリル研磨機 1台 投影機 2台
工具顕微鏡 7台 粗さ測定器 1台 真円度測定器 1台
画像測定器 2台 ほか

エコアクション21組織図及び実施体制

改定履歴	
2014.03.14	新規作成
2014.10.02	EA21事務局員変更
2017.06.13	役職名及び担当者変更
2018.10.30	担当者変更・追記
2018.05.11	2017年度版に対応
2020.09.18	役職名及び担当者変更
2022.09.01	組織変更
2023.07.29	役職名変更



<主な役割・責任・権限>

環境統括責任者	環境経営システムの最高責任者 環境経営方針の制定又は改定 環境管理責任者の任命 環境経営目標及び年間活動計画の承認 経営資源の準備 環境経営システムの全体評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化 効果的な推進体制の構築と全従業員への周知
環境管理責任者	環境経営システムの構築・運営 環境経営目標及び年間活動計画の作成及び推進維持 代表者への状況報告 外部からの苦情・要望等の窓口 環境経営レポートの作成
EA-21事務局	環境経営計画の活動状況の取りまとめ 環境関連法規の確認と遵守状況の確認 環境関連文書の作成及び管理 環境情報の発信 環境関係の改善提案受付 緊急時対応訓練の計画と実施
各部推進員	環境経営計画の実施啓発と報告 環境活動状況の記録と確認 問題点の是正と処置

株式会社 岡田精密

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社岡田精密は企業活動において環境保全の責務があると認識して持続可能な環境保全を行います。

工程の効率化と不良品の削減に取り組みCS向上と省資源を図ることが弊社にとって重要な環境対策と考え、持続的な改善活動を推進していきます。

<環境保全への行動指針>

エコアクション21（環境経営システム）を活用して下記の取り組みにより持続可能な環境保全を行います。

- 1 . 社内全体のエネルギー消費量を把握して、二酸化炭素削減を図り、省資源に継続して取り組みます。
- 2 . 廃棄物削減のため3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進に取り組みます。
- 3 . 水削減及び化学物質の適正使用に取り組みます。
- 4 . 環境に配慮した製品製造を推進していきます。
- 5 . 環境関連の法規等を遵守することを誓約します。
- 6 . 社内で働く全従業員に環境経営方針の周知徹底を行い、環境保全意識向上の為に周辺地域の美化活動を行います。

制定日：2014年5月1日
改訂日：2018年5月16日
確認日：2023年3月8日

代表取締役会長 岡田 はつ子



環境経営目標とその実績

- ・目標の設定に当たっては、2020年実績を基準とする
- ・環境に配慮した製品づくりは重点管理品目としてA社向け SHAFTの2018年平均不良率0.43%を基準として各年とも年平均不良率0.3%以下を目標とする。

1. 環境経営目標

※取り組み期間は当年1月1日～当年12月31日です。

項目	単位	2020年 基準年度	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量 (2023年度までに3%削減)	Kg-CO2	119284	118091	116898	115705
	kg-co2/売上(百万)	499	494	489	484
	電力	kWh	272960	270230	267501
		kwh/売上(百万)	1142	1131	1119
	ガソリン	L	810	802	794
		L/売上(百万)	3.39	3.36	3.32
	軽油	L	950	941	931
		L/売上(百万)	3.97	3.93	3.89
廃棄物排出量 (2023年度までに3%削減)	一般廃棄物	t	0.24	0.24	0.24
	産業廃棄物	t	3.49	3.46	3.42
環境に配慮した製品作り(A社向けSHAFT)	年平均不良率(%)	MAX0.3	MAX0.3	MAX0.3	MAX0.3
水使用量 (2023年度までに 6%削減する)	m ³	277	271	266	260

※本社・工場は平成30年実績の鈴与電力㈱実排出係数 0.437(kg-CO2/kWh)、牧之原工場は令和1年度の中部電力調整後排出係数0.379(kg-CO2/kWh)

※産業廃棄物は廃プラ・廃油を対象とする

2. 対象期間実績

基準年度の対象期間2020年1月1日～2020年12月31日

項目	単位	2020年 1月～12月 基準年度	2023年 1月～12月 目標	2023年 1月～12月 実績	評価
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	119284	115705	150374	△
	kg-co2/売上(百万)	499	484	409	○
	電力 ※排出係数0.382	Kwh	272960	264771	△
		Kwh/売上(百万)	1142	1108	○
	ガソリン	L	810	786	△
		L/売上(百万)	3.39	3.29	○
	軽油	L	950	922	△
		L/売上(百万)	3.97	3.85	○
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.24	0.24	×
	産業廃棄物	t	3.49	3.39	○
環境に配慮した製品作り(A社向けSHAFT)	年平均不良率(%)	MAX0.3	MAX0.3	0.56	×
水使用量	m ³	277	260	207	○

※中部電力調整後排出係数0.382(kg-CO2/kWh)

※産業廃棄物は廃プラ・廃油を対象とする

評価基準	記号	達成度
	○	80%以上
	△	50%以上
	×	50%以下

2023年度環境経営計画の取組結果とその評価 (2023年1月～2023年12月)

環境計画項目			実施責任者	対象期間評価			次年度 取組み		
				半期	通期	コメント			
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A.不必要なアイドリングの禁止	品質管理部 林役員	○	○	各社員の意識が大事なことです。 エコ運転のさらなる意識向上に努めて下さい。 空気圧管理は燃費に直結します。月1回の 管理を実施してください。	継続		
		B.不要な荷物を降ろす		○	○		継続		
		C.急発進・急加速の禁止		○	○		継続		
		D.タイヤの空気圧をチェック		○	○		継続		
		社用社内不要物の積載有無の確認		○	○		継続		
	空調	A.エアコンの設定温度を夏27℃冬20℃に設定	製造部 渡邊常務	○	○	管理者が適切に管理できていました。 牧之原工場遮光対策はよしずで対応しました。維持継続して下さい。	継続		
		B.定期的フィルター清掃		○	○		継続		
		C.使用していないエリア空調停止		○	○		継続		
		D.日射を遮るため遮光対策の実施		○	○		継続		
	照明	A.休憩時消灯の徹底	各部推進員	△	○	各部内での周知徹底により休憩時間の消灯ができました。 一部照明(屋外)のLED化を実施しました。	継続		
		B.高効率照明の採用(LED、HF蛍光灯、高効率水銀灯)		△	×		改善		
		C.照度計を使用して室内照度測定		○	○		継続		
		D.上記結果に基づき照明削減		○	○		継続		
	エンベロップカー	A.換気と周囲温度の管理	製造部 渡邊社長	○	○	計画通りにできました。維持継続して下さい。	継続		
		B.吸気・排フィルターの定期清掃		○	○		継続		
		C.エア漏れの調査・補修		○	○		継続		
	未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)		各部推進員	△	△	概ねできていました。OA機器は告知のみではなく確認を必要に応じてして下さい。	継続		
	節電意識の向上			○	○		継続		
	生産性向上	A.段取り時間短縮 B.不良品の削減	製造部 渡邊社長	△	△	維持継続して下さい。	継続		
				△	△		継続		
水使用量の削減	A.手洗い時の節水	林専務	△	△	概ねできています。維持継続して下さい。	継続			
	B.水もれ点検の実施		○	○		継続			
	C.節水意識の向上		○	○		継続			
廃棄物の削減	A.コピー用紙の両面使用	林専務	△	○	資材の有効活用は経費削減にも寄与することなので維持継続して下さい。 切削油の新規使用量は品質保持に支障がないように製造部責任者と協議の上、適正使用をすること。また目標値に無理がないか検討すること。	継続			
	B.コピーミスの低減		△	○		継続			
	C.切削油の新規使用量の適正利用		○	○		継続			
	D.ビニール袋の再利用促進		○	○		継続			
	E.緩衝材の再利用		○	○		継続			
リサイクルの推進	A.分別による古紙、ダンボール、雑誌等のリサイクル推進	各部推進員	○	○	油付着の紙類が増加していますので来期は対策を実施してください。	継続			
	B.ペットボトル、瓶、缶等飲料容器のリサイクル		△	△		継続			
	C.分別廃棄の強化		○	○		継続			
教育訓練	A.環境経営システムの運用説明	林専務	○	○	火災総合訓練は実施しました。 自然災害の対する対策・訓練計画の検討をすること	継続			
	B.緊急事態の想定訓練		○	○		継続			
	C.5Sの徹底		○	○		継続			
備考	※評価の方法は ○ △ × で評価する。					評価基準	記号	達成度	維持継続 改善・強化 再検討・要改善

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標				環境経営計画項目		実施責任者	
二酸化炭素の削減	電力による二酸化炭素削減 基準年度実績 379,942 kWh 2023年 145,138 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数; 0.382kg-CO2/kWh			エコ・ドライブ	A.不必要なアイドリングの禁止		品質管理部 林専務
					B.不要な荷物を降ろす		
					C.急発進・急加速の禁止		
					D.タイヤの空気圧をチェック		
					納入経路の再検討		
	2024 年度目標 基準年度比 99% 削減率 -1.0% 目標値 143,687 kg-CO2 376,143 kWh			空調	A.エアコンの設定温度を夏27℃冬20℃に設定		牧之原工場 渡邊社長
					B.定期的フィルター清掃		
					C.使用していないエリア空調停止		
					D.日射を遮るため遮光対策の実施		
	自動車燃料による二酸化炭素削減 基準年度実績			照明	A.休憩時消灯の徹底		本社工場 林専務
					B.本社工場の照明LED化を促進		
	2023年 ガソリン 948 ℓ 						

環境関連法規等の遵守状況及び評価の確認並びに違反、訴訟等の有無

法令の名称	遵守内容	適用を受ける設備	届出等	遵守状況
労働安全衛生法	労働者の衛生管理			○
	工場内照明			○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物保管基準	廃棄物保管施設	処理業者との契約締結、許可証の確認	○
	廃棄物処理基準		マニフェスト管理票(A.B2.D.E票)5年間保存	○
	水銀使用製品廃棄物適正管理		水銀使用製品廃棄物保管場所を新規設定	○
	マニフェスト管理・報告 委託先への監査		産業廃棄物管理票交付状況報告書 委託先の実地確認を年1回実施・記録保存	○ 優良業者の為、除外
騒音規制法（市町村）	特定施設設置届	工場内エアコン	騒音に係る特定施設設置(使用)届出書	○
		NC自動旋削盤		○
		空気圧縮機		○
振動規制法（市町村）	特定施設設置届	空気圧縮機	騒音に係る特定施設設置(使用)届出書	○
浄化槽法 静岡県浄化槽取扱指導要綱	浄化槽法第11条点検	浄化槽	検査委託先:静岡県生活科学検査センター	○
	年2回点検(6月・12月)		保守点検:(有)吉田浄化槽サービス	○
	年3回清掃		清掃:(有)日新菜盈工業	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検・廃棄	工場内エアコン	簡易点検を3か月に1回実施	○
資源有効利用促進法 (パソコン回収省令)	事業用パソコンの廃棄	事業用パソコン		○
自動車リサイクル法	廃車時の適正処理	事業用車両		○
家電リサイクル法	廃棄時の適正処理	冷蔵庫・テレビ		○
評価	各所記録を確認した結果、弊社に関係する環境関連法令は遵守していると判断します。 水銀使用製品廃棄物については保管場所を設定して管理表示を実行済です。			

評価基準:遵守している・・・○ 適正だが1部不備がある・・・△ 該当なし・・・―

<環境法令の遵守違反の有無について>

当社に関係する環境関連法規等については過去3年間にわたって違反や訴訟等ありません。

又、過去5年間にわたって近隣住民、行政機関等に関連した利害関係者からの苦情ありません。

2024年2月23日確認

環境管理責任者 林 卓弘

代表者による全体の評価と見直し記録				■ 定期見直し(事業年度終了後) □ 臨時見直し 2024年1月30日		代表者 渡邊	環境管理責任者 林
見直しに必要な情報				代表者による見直し			
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項			
[取り組み状況の評価結果]				[環境経営方針]			
①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による) ・2023年2月24日に定期評価を実施した結果順守されている				変更の必要性: □有 ■無			
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・2020年度施策の維持継続を行いました。				2018年5月18日に見直し済			
③前回までの代表者の指示事項への対応 ・2017年版に対応していることを再確認の上、実行しました。							
＜改善への提案＞ ・本社工場内照明設備の耐用年数超過による更新(特に第二工場のLED化)				[目標・活動計画]			
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)				変更の必要性: ■有 □無			
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	2024年度は2023年を基準年とした3か年計画を立案・実行すること。			
電力の削減	×	○	注文増加による稼働率増加により達成できませんでした。しかし、売上増加によりkg-co2/売上は39(百万)と改善しました。	[その他]			
ガソリン・軽油の削減	×	○	納入回数増加及び拠点間の移動発生により達成できませんでした	変更の必要性: □有 ■無			
廃棄物の削減	×	○	一部切削油非塩素化による交換作業で廃棄物が大量発生したことにより達成できませんでした。				
節水	○	○	目標比75%で達成できました。				
＜改善への提案＞ 去年に引き続きレンタルウエスの検討を提案します。				[総括](環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)			
[周囲の変化の状況]				昨年は前会長死去によりガバナンス体制の再構築等、通常業務以外の重要項目を遂行しながらの環境経営計画の運営となりましたが各部署の責任者が奮闘したおかげでやり遂げることができました。			
①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情・要望等はありませんでした。				残念ながら各目標は未達が多数となりましたがCo2排出量の売上高原単位評価が対基準年97%であることを考慮するとい評価で問題ないと判断します。			
＜改善への提案＞ 特にありません							
代表者が自ら得た情報							
2024年度は「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の進捗に伴い、個人消費や設備投資等の内需がけん引する形で、GDP成長率は実質で1.3%程度、名目で3.0%程度と見込まれる。(2024年1月16日内閣府発表)							
成長の継続、労働需給の引き締め等を背景に、2024年度の賃金上昇率は、2023年度を上回ると見込む。(2024年1月16日内閣府発表)							
本年は所得増加に向けた政府の動きが活発になると思われる。給与増加の原資をどのように確保するかが課題である。							